

非住宅の木質化に不可欠な最新技術を展示

非住宅木造建築フェア



10月30日から2日間にわたりインテックス大阪で開催された非住宅木造建築フェア2025

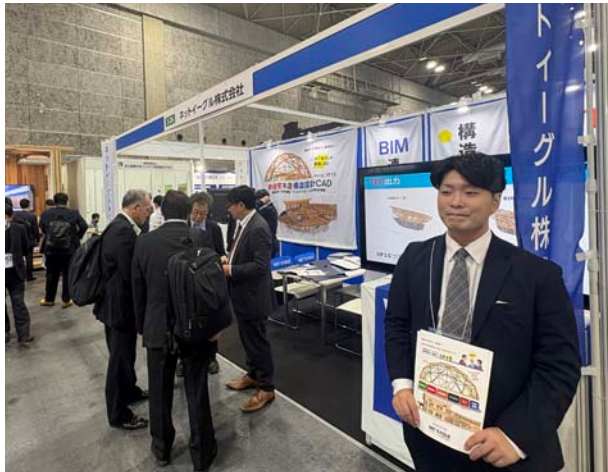
木材・プレカット・構造計算・建築工法等、非住宅木造建築物の「木造・木質化」に関する木材・プレカット・構造計算・建築工法など、木造に関する製品・サービスを一堂に集めた「非住宅木造建築フェア 2025」が10月30日から31日までの2日間にわたり、インテックス大阪において開催された。

今年6月の東京ビッグサイトでの開催に引き続き、設計・構造計算等のソフトウェア関連や非住宅木造に特化した新工法、高耐力の建築金物、高層木造・大規模木造を可能にするCLTや地域材などの構造材や新建材、設計支援サービスなどが多数出展されたほか、会場内では耐震性・気密性・断熱性などを高めたモデル住宅一棟を建てるライブ施工イベントや各種セミナーなども実施された。

非住宅市場で注目されるソフトウェア

木造プレカットCADの大手であるネットイーグル(株)のブースでは、バージョンアップされた非住宅木造プレカットCAD「XF15」と業界初となる4階建て構造計算(ルート2)システム「NSC15」を中心に「XF24」や「BIM連動(IFCデータ読込/出力システム)」、「CLT-CAD」などの連携システムについて大型モニターでデモ動画を展示した。

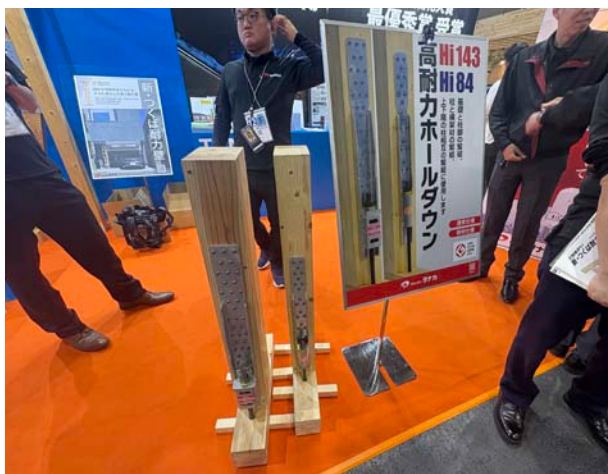
XF15はバージョンアップ新機能「ブレース接続(ATAトラス、P3+トラス、シアプレート等)」のデモを実演したほか、入力された物件をVRヘッドマウントディスプレイによって仮想空間で確認する実演も行った。また構造計算(ルート2)ソフトの「NSC15」の実演



ネットイーグル(株)のブースには多くの新規客が訪れた



CADで作成された3次元モデルはVRで閲覧できる



(株)タナカの新製品「高耐力ホールダウン」



(株)エヌ・シー・エヌのSE金物を使用した構造サンプル

デモも実施。10階建てまで対応できるXF15と連動し、4階建てのまま構造計算（ルート2）が行えるソフトは業界初で、プレカットまで一貫したデータで行えるようになっている。

今回、同社のブースでは70社以上の来場者を集め、その半数以上が、非住宅木造市場への新規参入を狙うプレカット工場や設計事務所など完全な新規客となっており、非住宅市場における木造プレカットCADへの対する注目度を伺い知ることができた。

非住宅の木質化で要となる構造金物

木造用建築金物の大手である(株)タナカのブースでは中大規模木造建築の接合部の高耐力化に対応したホールダウン金物の新製品を実物展

示。「高耐力ホールダウン Hi143」は中大規模木造建築の接合部の高耐力化に対応したホールダウン金物で、120kNを超える高耐力を実現している。「高耐力ホールダウン Hi84」は高倍率耐力壁の連層に対応したホールダウン金物で、スリム化と高耐力を両立しており、柱の断面寸法 105mm角に対応。どちらも基礎と柱脚の緊結、柱と横架材の緊結、上下階の柱相互の緊結に使用することができる。ほかにも、壁倍率4倍以上の耐力を確保した木造建築用の耐力壁「新・つくば耐力壁」や壁用と水平用の鋼製ブレース「高耐力オメガメタルブレース」などの実物展示も行った。

(株)エヌ・シー・エヌは、今年4月にバージョンアップした「SE金物」を使用した木構造サンプルの実物展示を行ったほか、建築環境設計